



地域とともに

未来へ



兵庫県立浜坂高等学校長 小山 朋子

☆新旧生徒会役員 退任式・認証式

本校の生徒会役員任期は1年間で、2学期当初の文化祭を終えて任期満了、交代となります。今年度も選挙管理委員会主導のもと、立候補者による立会演説会、選挙を経て、新生徒会が誕生しました。

まずは、旧生徒会長の退任の挨拶…新設した「浜高交流杯」、一番の大仕事だった「文化祭」を振り返り、「コロナ禍でも楽しい学校にしたかった!」と達成感と感謝の意で感無量の様子。「思いやりの心を地域にも広げて、もっとよい浜高に!」と新会長にバトンを渡しました。

そして、新生徒会長…少々緊張しながらも、「皆を笑顔にします! 生徒だけでなく、地域の方々、先生方も笑顔にします!!」と、前役員の思いをしっかりと引き継いで、力強く宣言しました。

最近の若者たちは、自己中心、自分勝手と言われがちですが、浜高には自分のことだけではなく、地域や周囲とつながりを大切に感じている生徒たちがいる。自分の、学校の、地域の“未来”を人々とともに創っていくんだという高校生がここにいることに、大変感動しました。

小さい町の小さい高校の生徒たちですが、捨てたもんじゃない! 乞うご期待!!



旧生徒会役員



校旗が新生徒会長へ

☆Let's Practice “発信・発進力”

2学年「総合的な探究の時間」では、小グループに分かれ、それぞれテーマを設定し、探究するという学習を行っています。先日、あるグループが研究のためのアンケートを職員にしたいということで、職員朝礼の前に、職員室、そして全職員の前で説明をしました。大変緊張した様子でしたが、しっかりとした口調で明確に伝えることができました。

慣れない環境で、目上の人々や初見の人へ発言することは容易いことではありませんが、自分の思いを相手に理解、納得してもらうために、正確なことばと的確なマナーで伝える力は、今後、社会人として必要な力の一つです。また、夢の実現へ向かうために助けとなる“つながり、進む力”にもなります。浜高では、様々な活動や場面において“発信・発進力”を養う機会を設けています。生徒自らがその機会を逃さずチャレンジして、“発信・発進力”をどんどん磨いてほしいものです。



☆10月1日創立記念日 “73周年”

昭和23年から紡いできた歴史と伝統を振り返るとともに、本校を支えてくださる地域の方々への感謝の日です。そして、浜高を“未来”へとつないでいく決意を、生徒も職員も新たにしています。



校訓「勤勉・創造・禮義」

浜坂高等学校は、創立以来70年以上、地域の学校として皆様に愛され、地域を支える人材を多く輩出してきました。近年、人口減少や教育環境の変化等により、小規模校となってしまいましたが、新温泉町唯一の県立高等学校として、地域の未来を担う人材を育てるという使命をより強く感じます。そのためにどうあるべきか、何ができるか、教育活動の見直しとともに、今年度より新温泉町の関係機関との連携をさらに強めてその方策を模索しています。地域に根ざし、より愛される学校として、新温泉町の「未来」を地域の皆様とともに考え、創ってまいります。浜高生に、より一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(“浜高の今”をお伝えしてまいります。ご一読いただけたら幸いです。)